

第 15回 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会大会

協賛趣意書

開催日：2024年 11月 9 日（土）

第15回 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会大会

会長 瓜田 純久

東邦大学名誉教授

ご挨拶

謹啓

第15回日本安定同位体生体ガス医学応用学会 学術総会を開催させていただきます。

昨年まで本学会の事務局を担当させていただきました東邦大学総合診療・救急医学講座の前教授 瓜田純久です。

この度日本安定同位体生体ガス医学応用学会は15回目の学術総会を開催させていただくこととなりました。これまでの会員の先生方のご協力・ご支援に心から感謝申し上げます。

神学・法学・哲学に牽引されるようにして始まった医学教育ですが、10世紀後半に南イタリアのサレルノ医学校から、ローニャ大学、パリ大などへ広がりました。15世紀の活版印刷術の発明により本から学ぶことが可能となり、さらに産業革命の果実を得るための技術者育成が急がれ、大学は衰退していった歴史があります。研究は大学の枠を超えて連携する一方、大学はナショナリズムとして語られることがあり、多くの学会において共同体を形成してきた歴史があります。ナショナリズムが単語として出現するのは19世紀末であり、当初nationは「社会」「人々の集合」という意味にすぎず、「民族」「国民」という意味を持っていませんでした。ナショナリズムを有する共同体の構成員は、お互いに未知であることが多く、無意識のうちに同じ同胞愛を持つものとして、nationを構成していることとなります。Nationは国籍に相当する社会的有限性を自覚し、対等で異なるnationの存在を積極的に容認しています。本来文化的な単位ですが、政治的単位としての認知を強く要求してきた歴史があります。本学会は小さなnationであり、学術総会を通して顔見知り揃っている共同体であり、純粋に文化的・学術的な活動に徹しており、政治的要求とは無縁であった潔い歴史を持っています。しかし、過去から継続し、現在においても未完成であり、将来に完成の希望を持っているというnationのアイデンティティは共有しているように思います。

形態学として発展した医学は、文字という記号とともに発展した神学、法学と同様に歩みを進めてきましたが、形態学の枠を逸脱する現象には極めて冷淡な対応を繰り返してきました。本学会は「見えない本質を診る」ことに取り組む研究者によって、独創的な活動を展開してきました。小橋恭一先生が1988年から開催した日本呼吸病態生化学研究会、塚田裕三先生が1985年から意欲的な活動を行ってきた13C医学応用研究会、この両者が弘前大学の中村光男教授、本学第二生理学 故平野修助教授の尽力により、日本安定同位体生体ガス医学応用学会として発足して15年となります。1985年卒業の小医と同様、延40年目の本学会総会を開催させていただくことは、誠に光栄に存じます。医学は自然科学の一翼を担うことから、最適解を記号(数値)で探索することが多いものの、生命を相手にする医学は哲学と同様に「問い」を探し続ける形而上学的な面も避けられません。「問い」を探す意欲的な演題をお待ちしております。

謹白

2024年 8月 吉日

第15回日本安定同位体・生体ガス医学応用学会大会長

瓜田純久

東邦大学名誉教授



大会概要

1. 名称

第 15回 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会大会

2. 主催及び代表者

1) 主催

第 15回 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会大会 事務局

2) 代表者(大会長)

東邦大学名誉教授 瓜田 純久

〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1

E-mail: foo@med.toho-u.ac.jp

3. テーマ

臨床とは・・・「生命の必然に爪をたてる」

4. 開催期間

2024年 11月 9日(土)

5. 会場

東邦大学医療センター大森病院 5号館地下1階 臨床講堂

6. 大会プログラム概要

11月 9日(土)

学術大会

総会、基調講演、特別講演、シンポジウム、一般公演、企業セミナー、発表賞授賞式等

7. 参加人数(予定)

約 100 名

8. 問い合わせ先

第 15回日本安定同位体・生体ガス医学応用学会大会 事務局

庶務担当

東邦大学医学部総合診療・救急医学講座 秘書 佐藤光子

〒143-8541 TEL: 03-3762-4151 ex.2791

E-mail: satomitsuko@med.toho-u.ac.jp

第15回 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会 大会 予算案

収入

科目	単価	数量	予算額	備考
大会参加費	¥ 5,000	100名	¥ 500,000	
学会本部補助金			¥ 300,000	
機器展示費	¥ 100,000	1社	¥ 100,000	
広告費	¥ 33,000	5社	¥ 165,000	1/2ページ
	¥ 55,000	2社	¥ 110,000	1ページ
企業セミナー共催費	¥ 110,000	1社	¥ 110,000	
開催助成金(寄付金)			¥ 500,000	
情報交換会参加費	¥ 3,000	50名	¥ 150,000	
収入合計			¥ 1,935,000	

支出

科目	内訳	予算額	備考
事前準備費			
印刷・制作物	抄録集、ポスターなど	¥ 402,750	抄録集200、ポスター等100、発送費200
ホームページ作成維持費	¥ 22,000 × 6ヶ月	¥ 242,000	ジーイングス
通信諸費		¥ 30,000	
事務費	文具、事務手数料など	¥ 50,000	
当日運営費			
会場費		¥ 70,000	
機材費備品費		¥ 319,000	
消耗品費	事務用品など	¥ 20,000	
運営補助人件費	日当 ¥10,000 × 5名	¥ 50,000	
理事会・評議会会合費	¥500 × 40名	¥ 20,000	
会長招宴費	¥10,000 × 10名	¥ 100,000	
接遇関係			
招聘者謝礼		¥ 300,000	
招聘者交通費		¥ 200,000	
招聘者宿泊費		¥ 50,000	
会議費		¥ 20,000	
通信費		¥ 30,000	
予備費		¥ 31,250	
支出合計		¥ 1,935,000	

一抄録集広告 募集要項一

1. 広告媒体名：第15回 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会 大会 抄録集
2. 配布対象：大会参加者、会員および大会関係者
3. 発行部数：200部（A4 版）
4. 予定製作費：312,000 円（税込）
5. 広告掲載料：

掲載サイズ	料金（税込み）	募集数	備考
1/2 頁（A5 サイズ 横）	¥ 33,000	5 社	モノクロ
1 ページ（A4 サイズ 縦）	¥ 55,000	2 社	モノクロ

6. 広告収入総額：275,000 円（税込）
7. 申込締切：2024年9月10日 正午
8. 申込方法：別紙の申込フォームに必要事項を記入の上、E-mailでご連絡ください。
※E-mail：satomitsuko@med.toho-u.ac.jp
なお、お申込から一週間以内程度で下記の振込先まで料金をお振込みください。
9. 原稿送付締切：2024年9月15日 正午
10. 原稿送付先：完全データ（PDF データ）を以下の宛先までメール添付にてご送付ください。
11. 掲載料振込先：
【銀行名】三菱UFJ銀行【支店名】蒲田支店
【店番】117【預金種目】普通預金【口座番号】1702718
【口座名義】第15回日本安定同位体生体ガス医学応用学会 会長 瓜田純久
(タ`イ`ジュ`ウ`カ`ニ`ホ`アン`テイ`ウ`イ`タ`イ`タ`イ`ス`カ`ク`ウ`ヨ`カ`ツ`カ`イ`カ`イ`ヨ`ウ`ウ`リ`タ`シ`サ)
※ 振込手数料は貴社にてご負担ください。
※ 別途、請求書・領収書が必要な場合には、大会事務局にご相談ください。

第15回 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会大会 事務局
庶務担当

東邦大学総合診療・救急医学講座 秘書 佐藤光子

〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1 TEL: 03-3762-4151 ex.2791

E-mail: satomitsuko@med.toho-u.ac.jp

E-mail: satomitsuko@med.toho-u.ac.jp

(第15回日本安定同位体・生体ガス医学応用学会大会 事務局)

第15回 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会 大会 抄録集

広告掲載申込書

【大会事務局】東邦大学総合診療・救急医学講座

担当: 佐藤光子

申込年月日 2024年 月 日

第15回 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会 大会の趣旨に賛同し、抄録集への広告掲載を申し込みます。

※ ご希望の番号に ○ を付けてください。

1. 1/2 頁(A5)サイズ 33,000 円(税込)
2. 1 頁(A4)サイズ 55,000 円(税込)

貴社名: _____ 部署: _____

ご住所: 〒 _____

ご担当者名: _____

お電話番号: _____ FAX 番号: _____

E-mail: _____

請求書・領収書発行: 要 □ 不要 (どちらかを ○ で囲んでください。)

請求・領収書宛名: _____ (発行が必要な場合)

—機器展示 募集要項—

1. 開催日程：2024 年11月9 日(土)
2. 実施会場：東邦大学医療センター大森病院 5号館地下1階
3. 募集枠：1 社
4. 出展料：100,000 円(税込)
5. 申込締切：2024年9月10日 正午
6. 申込方法：別紙の申込フォームに必要事項を記入の上、E-mail でご連絡ください。

※E-mail : satomitsuko@med.toho-u.ac.jp

なお、お申込から一週間以内程度で下記の振込先まで料金をお振込みください。

7. 出展料振込先：

【銀行名】三菱UFJ銀行【支店名】蒲田支店

【店番】117【預金種目】普通預金【口座番号】1702718

【口座名義】第15回日本安定同位体生体ガス医学応用学会 会長 瓜田純久

(タ`ィ`ィ`ユ`コ`カ`ニ`ホ`アン`テ`ィ`ウ`イ`タ`イ`タ`イ`ス`イ`カ`ウ`ヨ`ウ`カ`ッ`カ`イ`カ`イ`ヨ`ウ`リ`ノ`シ`サ`)

※ 振込手数料は貴社にてご負担ください。

※ 別途、請求書・領収書が必要な場合には、大会事務局にご相談ください。

第15回 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会大会事務局
庶務担当

東邦大学総合診療・救急医学講座 秘書 佐藤光子

〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1 TEL: 03-3762-4151(2791)

E-mail: satomitsuko@med.toho-u.ac.jp

E-mail: satomitsuko@med.toho-u.ac.jp

(第15回日本安定同位体・生体ガス医学応用学会大会 事務局)

第15回 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会 大会

機器展示会 出展申込書

【大会事務局】東邦大学総合診療・救急医学講座

担当: 佐藤光子

申込年月日 2024年 月 日

第15回 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会 大会において機器の出展を申し込みます。

貴社名: _____ 部署: _____

ご住所: 〒 _____

ご担当者名: _____

お電話番号: _____ FAX 番号: _____

E-mail: _____

《ご出展内容》 _____

(備考)

－開催助成金 募集要項－

《開催助成金》

1. 寄付の目的：開催・運営費用の助成
2. 目標金額：500,000 円
3. 申込締切：2024年9月10日 正午
4. 申込方法：別紙の申込フォームに必要事項を記入の上、E-mail でご連絡ください。
※E-mail：satomitsuko@med.toho-u.ac.jp
なお、お申込から一週間以内程度で下記の振込先まで料金をお振込みください。

5. 開催助成金振込先：

【銀行名】三菱UFJ銀行【支店名】蒲田支店

【店番】117【預金種目】普通預金【口座番号】1702718

【口座名義】第15回日本安定同位体生体ガス医学応用学会 会長 瓜田純久

(タ`ィ`ィ`ユコカ`ィ`ニホアン`ィ`イト`ィ`ウイタイ`ィ`イタ`ィ`イカ`ィ`ス`ィ`カ`ィ`クホヨカ`ィ`ツカイ カイヨリ`ィ`ウ`ィ`ヲシサ)

※ 振込手数料は貴社にてご負担ください。

※ 銀行発行の振込控えをもって当方の領収書に代えさせていただきます。

第15回 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会大会事務局

庶務担当

東邦大学総合診療・救急医学講座 秘書 佐藤光子

〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1 TEL: 03-3762-4151 (2791)

E-mail: satomitsuko@med.toho-u.ac.jp

E-mail: satomitsuko@med.toho-u.ac.jp

(第15回日本安定同位体・生体ガス医学応用学会大会事務局)

第15回 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会 大会

開催助成金寄付 申込書

【大会事務局】東邦大学総合診療・救急医学講座

担当: 佐藤光子

申込年月日 2024年 月 日

第15回 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会 大会の趣旨に賛同し、下記
金額を開催助成金として寄付致します。

金 _____ 円也

貴社名: _____ 部署: _____

代表者名: _____

ご住所: 〒 _____

ご担当者名: _____

お電話番号: _____ FAX 番号: _____

E-mail: _____

(参考資料) 日本安定同位体・生体ガス医学応用学会 会則

【名称】第

1 条

本学会は日本安定同位体・生体ガス医学応用学会 (Japan Society for Medical Application of Stable Isotope and Biogas : JSMASIBG: 以下「学会」と称する。

【目的】

第 2 条

学会は安定同位体標識化合物や生体ガスの医学および医療への利用を推進し、非侵襲的に病態を解明するとともに、生命科学分野における学術的研究を啓発、奨励し、もって人類の健康の向上に資することを目的とする。

上記の目的を達成するために次の事業を行う。

1. **大会**および講演会の開催
2. 会誌、研究報告および資料の刊行
3. 国内外の関連機関との連絡および連携
4. 標識化合物の合成・測定機器の開発などにおける産学協同研究の推進
5. その他目的達成のための必要な事業

【組織】第

3 条

1. 学会の組織は次の者により構成される。

正会員、名誉会員、特別会員、法人会員、賛助会員、学生会員

2. 学会には次の役員をおく。

理事長 1 名 (会務を総理し、本会を代表する)

理事 若干名 (理事会を組織して会長を補佐し、会務の執行に当たる)

監事 2 名 (監事は学会の財産の状況、業務の執行を監査する)

3. 学会に評議員をおく。

- ① 評議員は評議員会を組織し、学会運営の重要事項について理事会の諮問に応ずるものとする。
- ② 評議員の選出は別に定める。

【会員】第

4 条

学会の会員は次の通りとする。

1. 正会員: 学会の目的達成に参画し、所定の会費を納めた個人とする。

2. 名誉会員:研究会で多大な貢献をされ、名誉会員であった会員で、会費は免除する。
3. 特別会員:研究会で特別会員であった会員、および幹事を特別会員とすることができる。特別会員は会費を免除する。
4. 法人会員:企業法人格の団体会員で所定の会費を納めるもの、または団体とする。
5. 学生会員:大学またはこれに準ずる学校(大学院を含む)に在籍し、本会の目的に賛同し、所定の会費を納めたものとする。

【会議】

第5条

1. 理事会は毎年1回、理事長が招集する。ただし、理事長が必要と認めた場合、或いは理事現在数の3分の1以上から会の目的たる事項を示して請求があったときは、理事長は臨時理事会を招集しなければならない。理事会を構成するのは理事長、理事、監事および理事長が必要と認めた者である。
2. 評議員会は理事会の決議に基づき大会の開催時に招集する。評議員会を構成するのは理事長、理事、監事、評議員および理事長が必要と認めた者である。
3. 理事会は理事長・理事・監事の役員現在数の2分の1以上、評議員会は理事長・理事・監事・評議員の役員現在数の2分の1以上が出席した場合に限り、正式に会として成立する。ただし、あらかじめ他の役員を代理人として表決を委任した者は、出席とみなされる。

4. 第6条

1. 大会は年1回開催し、理事会において大会の担当機関(施設)および会長を指定する。
2. 会長は大会開催を推進するため、組織委員会を組織する。
3. 会長はその年度中理事会に出席する。

第7条

1. 総会は大会の際、理事長が招集することができる。
2. 理事長は総会において学会の財務および運営状況を報告する。

【会計】第

8条

1. 学会の事業遂行に要する費用は、会費(理事・監事・評議員 8000円/年・一般会員 5000円/年)、事業に伴う収入をもって支弁する。

第9条

1. 学会の収支決算は会計年度の終了後、理事長が作成し、幹事の意見をつけ理事会および総会の承認を受けなければならない

第10条

1. 学会の会計年度は毎年4月1日に始まり、3月31日までとする。

【事務局】第

11条

1. 事務局は公立大学法人 横浜市立大学医学部 医学教育学(〒236-0004神奈川県横浜市金沢区福浦3-9)に

おく。

【附則】

第 1 条

学会設立のため ^{13}C -医学応用研究会と日本呼気病態生化学研究会の各会長の委嘱を受け、理事・監事・評議員若干名で準備会を結成する。

第 2 条

会発足以前の役員、評議員は ^{13}C -医学応用研究会および日本呼気病態生化学研究会の役員、評議員により構成する。

第 3 条

^{13}C -医学応用研究会および日本呼気病態生化学研究会の会員はそのまま学会の会員となる。

第 1 条

学会設立のため ^{13}C -医学応用研究会と日本呼気病態生化学研究会の各会長の委嘱を受け、理事・監事・評議員若干名で準備会を結成する。

第 2 条

会発足以前の役員、評議員は ^{13}C -医学応用研究会および日本呼気病態生化学研究会の役員、評議員により構成する。

第 3 条

^{13}C -医学応用研究会および日本呼気病態生化学研究会の会員はそのまま学会の会員となる。

役員名簿

2024年4月1日現在

理事長	中村 光男	弘前市医師会健診センター
理事	明樂 一己	松山大学薬学部
	石井 敬基	日本大学医学部
	稲森 正彦	横浜市立大学医学部
	瓜田 純久	東邦大学医療センター大森病院
	金松 知幸	創価大学理工学部
	澤野 誠	埼玉医科大学総合医療センター
	下内 章人	中部大学生命健康科学部
	丹藤 雄介	弘前大学大学院保健学研究科
	中田 浩二	川村病院
	中路 重之	弘前大学大学院医学研究科
	中嶋 均	三浦医院
	中村 禎子	十文字学園女子大学
	原田 雅史	徳島大学大学院
	堀口 明彦	藤田医科大学ばんだね病院
	松浦 知和	公益財団法人佐々木研究所附属 湘南健診センター
柳町 幸	弘前大学医学部附属病院	
監事	松本 敦史	弘前総合医療センター
	見留 英路	松山大学薬学部
評議員	井上 嘉余子	埼玉医科大学総合医療センター
	大平 慎一	熊本大学大学院
	奥田 明日香	十文字学園女子大学
	加藤 公敏	加藤クリニック
	加藤 宏之	藤田医科大学ばんだね病院
	坂本 昭雄	さんむ医療センター
	佐藤 均	昭和大学薬学部
	佐仲 雅樹	津田沼中央病院
	佐々木 陽典	東邦大学医療センター大森病院
	柴崎 浩美	東京薬科大学
	瀧井 道明	大阪医科大学三島南病院
	田辺 賢一	中村学園大学
	珍田 大輔	弘前大学医学部附属病院
	津田 孝雄	有限会社ピコデバイス
	永峰 康一郎	名古屋大学大学院情報学研究科
	新田 展大	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	野坂 千裕	協和発酵キリン株式会社
	福山 秀孝	株式会社 呼気生化学栄養代謝研究所
	丸山 涉	RECマテリアルズ株式会社
	松藤 千弥	東京慈恵会医科大学
三木 一正	一般財団法人 日本健康増進財団	

	武蔵 正明	東京都立大学理学部
	森藤 雅彦	新八千代病院
	柳町 悟司	柴田学園大学短期大学部